

第1回 認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会 抄録

“認知症ケア・気づき”をテーマに人材育成研修の有用性

～事業所管理者などにDVD視聴研修を実施して～

○今井享子, 堀川佳孝, 手操忠善

長浜米原地域医療支援センター (湖北医師会)

【目的】

管理者等を対象にDVDを活用した視聴研修を実施し、アンケート結果から有用性を考察した。

【方法】

- 1、対象 約280ヶ所の介護サービス事業所に案内し参加した29人の管理者等
- 2、開催日 2014年6月12日 同日に2回実施
- 3、内容
 - (1) 認知症看護認定看護師による講義「フィルターを通して見ないで」(15分)
 - (2) DVD視聴「心の奥に気づくには」(30分)『認知症ケアシリーズ』インターメディカ製作
 - (3) 協議内容(30分)
 - ①入居者と新人スタッフの散歩場面 ②自身の行動と照合 ③職場への伝達
- 4、18の参加事業所管理者等に職場研修の実態を把握する為にアンケート調査(2015年12月)

【倫理的配慮】

DVDは教育用に作製され、アンケート結果においても個人が特定される情報は含んでいない。

【結果】

参加職種はケアマネジャー・看護師・行政職員・介護福祉士等で、管理者は57%を占めた。内容は「良く理解できた・理解できた」が96%で、全員が「職場で活用できる」と回答した。協議①では、新人スタッフは入居者の行動や目線の先を見ていず、不安な気持ちに気づいていない。②では、できないからと安全を優先させてしまうができる事を引出し見守る。③では、新人研修や職場研修に活用し、気づく力の向上等、職場への発信が伺えた。6事業所が職場研修(延60人)を実施し、基本的な学びやケアを見直す上で今後の参考になったと、スタッフから好反応を得た。

【考察・まとめ】

様々な日常場面を視聴後、協議を通して結果②の通り、受講者の行動変容に功を奏した。心理学者メラビアン氏は、言語情報は7%、聴覚は38%、視覚は55%と提唱しているように、DVD視聴は、瞬時に、公平に伝える事ができ、更に話し合いを加える事で有用性が高まると考える。

しかし、未活用の職場もあり、研修後のフォローを継続し「気づき」を通して人材育成を推進していきたい。

【引用文献】

メラビアンの法則「7-38-55のルール」